

手と手をつないで



No.394

山本 信哉

(元小学校教諭)

実はこの辞書、近年改訂され、以下のように変更されています。

れんあい【恋愛】特定の相手に対して他のすべてを犠牲にしても悔いないと思い込むような愛情をいだき・・・（後略）

〔新明解国語辞典・三省堂 第8版〕

心のものさし(5) 手と手をつなぐ

たちに決めつけた見方を教えてしまったと後悔しています。

「うすだいだい」（または、「ペールオレンジ」という色をご存じですか？）

この色は昔「はだ色」という名前で絵の具やクレパスの中に入っていました。しかし、「はだ」の色は一つではない、多様な肌の色を考えた時、「はだ色」という名前はふさわしくないと「うすだいだい」という名前へと変えられました。私は、图画工作の時間、子どもたちに、人を塗る時「はだ色」を使って塗るよう教えていました。子ども

また、あるテレビドラマで辞書の編纂にあたって、「恋愛」という言葉の意味をどう解釈するか論議するシーンがありました。私は、辞書で「恋愛」という言葉を実際に調べてみました。すると、

恋愛は男女間のものとは限らないという社会の認識の広がりから、「特定の異性」「特定の相手」へと変えられたのです。

れんあい【恋愛】特定の異性に対して他のすべてを犠牲にしても悔いないと思い込むような愛情をいだき・・・（後略）

〔新明解国語辞典・三省堂 第7版〕

をいつの間にか批判したり排除したりしてしまっていることがあるからかもしれません。

ん。

マザー・テレサは「愛の反対は無関心」と言いました。

近づく努力をして同じ風景を見る一瞬を積み重ねていったい、そして手と手をつなぎたいのですね。

